

## 1 これまで3年間（H20～22年度）の取組について

### 1 児童・生徒の状況

#### (1) 学習事項の定着（学力）について

##### （成果）

本校の実態として、正答率の比較的高い群と低い群（2こぶラクダ形状）が見られる。H19・H20 全国学力・学習状況調査において答えの正答にだけこだわることが多い傾向が強かったが、指導方法の改善の効果でH21・H22と全国学力・学習状況調査や大阪府の学力テストにおいて基本問題に関しては平均を上回ることも多くなってきた。

また、年度初めに実施した「全国学力・学習状況調査」と年度終わりに実施した「大阪府の学力テスト」を比較してみると、昨年度をはじめ今年度においても平均正答率は大阪府平均を軸にして考えると向上していることがわかった。

学力低位層（正答率40%以下の児童）については、すべてを解消することはできなかったが、記述式の大阪府の学力テストにおいては低位層が減少していることがよく現れている。いろいろな学力向上の取り組みの成果としては結果が出ているといえる。

##### （課題）

主に知識を求められる基本的な問題であれば、すぐに答えられることが出来ても、基本事項を組み合わせる応用問題においては正答率の低い児童も少なからず見受けられる現状がまだある。自分のことばで書いたり、主体的に考えたりすることが苦手であるという児童も多く、課題解消までには至っていない。また、家の人と一緒に～というのは割合回答率が高かったのも本校の特徴として認められる。

すなわち、課題としては自己決定力が弱く、それを育成する場が少ないということがあげられる。習熟度別授業を軸として「一人ひとりの児童に基本的な学習事項の定着や、考える力・学びあう指導方法の改善をしていく姿勢」をこれからも習熟度や学力向上担当者を推進役として進めなければいけない状況がある。また、学力低位層の対応も専門支援員や支援教育サポーター・学習支援者等の有効活用を一段と推進する必要がある。

#### (2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

##### （成果）

集団を育てると同時に、学習においても学習においても基礎学力を育成し、達成感を味あわせることにより将来に対する意識を育てていった。また、基本的な生活習慣が身につけていない児童も時々見られるが自分で自分のことができ、自分の生活を見直し、正しい判断のもとに考えて行動する力をつけさせてきた。

低学年では友だちを助けようとしたり、手伝ってあげようとしたりする優しい児童も多く見られるようになってきている。他人が自分をどう見ているかが気になり、やることを自分で規制してしまう傾向も見られていたが、支え合う集団を育てる中でお互いを思いやる力を育ててきた。

##### （課題）

展望や期待、夢を持ちきれず、自分の将来について考えが及ばない。始めからあきらめ、克服をする努力をしない児童がいる。楽しいこと、おもしろいことはするが、しんどいことやいやなこと、目立たないことをやり遂げることができない児童も見受けられる。高学年になるにつれて他人との関係がしんどくなる場合も見られる。

自分の目標を持ちつつ、やらなければならないことは最後まで取り組む力を育てる必要があると共に、周りにつながる力（人間関係）を先ずつけさせ、それを学級・学年・異学年・学校・地域へと見方を広げさせていくことも課題である。

## 2 学校の取組

### (成果)

学力低位層に対する取り組み方法が、少しずつではあるが見えてきたことが一番大きな成果である。また、教職員の基礎学力に対する意識向上。色々な授業工夫の交流など、学校として大切にしていかなければならないことが定着しかけていることも成果といえる。そして、授業研究や研修の大切さ、本校に必要な研修内容や子ども達につけなければいけない基礎基本の力（言語能力）がわかってきたことも三年間の成果といえる。

### (課題)

上記の成果を踏まえ、具体化していく途中段階で三年間が終了してしまったこと。子ども達につけたい力が十分につけられていない状況にあること。授業改革がすべての教科、すべての教職員で完成していないこと等が揚げられる。また、時間的に行事や会議等に追われ、大切な話し合いの時間が十分にとれていないことも課題である。これらの課題を次の学力向上ステップアッププラン25でより具体化していきたい。

## 2 これから3年間（H23～25年度）の取組について

### 1 3年間の重点課題

重点課題	検証軸	25年度の到達目標
<学力向上の取り組み>（知） <ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かな指導の充実</li> <li>・課題のある児童への支援</li> <li>・習熟度別指導の充実</li> <li>・専門支援員、支援教育サポーター、学習支援者の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府の学力・学習状況調査</li> <li>・算数の到達度テスト</li> <li>・各単元後に実施する単元テスト</li> </ul>	先ず、学力低位層（正答率40%以下の児童）の割合を年度毎に減らすことを目標とし、学力高位層（正答率80%以上の児童）の割合を少しずつでも増やせるようにする。
<4つの力の育成>（徳） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめ力</li> <li>・自分力</li> <li>・つながり力</li> <li>・学び力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員による日常の指導と観察</li> <li>・常に実態を把握し、児童交流会で話し合いと検討</li> </ul>	本校の集団づくりの観点から、将来への夢を抱く力、自分の生活を律する力、人間関係がとれる力、仲間と学びあえる力を各学級・学校で育成する。
<体力向上の取り組み>（体） <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨木っ子運動の活用</li> <li>・授業で使える体力向上の取り組み</li> <li>・遊びの中の体力向上の取り組み</li> <li>・クラブ活動の取り組み（4～6年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で組織的に取り組む「体力向上プラン」の策定</li> <li>・体力テストによる検証</li> </ul>	小学校の運動嫌いが急増しているため、「運動（スポーツ）をすることが好き」な児童の割合を全国平均まであげることを目標とする。

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
<p>&lt; 学力向上の取組み &gt;            授業をつくる。(授業改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究を充実し、教員個々のスキルアップを図る。</li> <li>・反復練習、習熟度別授業の活用と家庭学習の充実で、基本的な学習事項の定着を図る。</li> <li>・スキル面と個別支援を充実させる。</li> <li>・学力の2コブラクダ形状解消を目指す。</li> </ul> <p>&lt; 4つの力の育成 &gt;            ゆめ力の育成のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、諸行事にゲストティーチャーやボランティア等を招き、モデルとなる大人とのふれあいの中で将来に対する展望を持たせる。</li> </ul> <p>自分力の向上のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につけさせる。家庭の協力のもと家での時間も見直させる。</li> <li>・学校でのきまりもきちんと守れるように、自分を振り返らせる。</li> </ul> <p>つながり力の向上のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級、学年、学校での集団作りを積極的にすすめる。</li> <li>・相手の立場に立つ心を持つことができ、正しい判断のもとに考えて行動できるようにする。</li> </ul> <p>学び力の育成のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考過程を大切にする、じっくり取り組む、まとめる力をつける、発表力をつける、書く力をつける等の取組みや授業づくりに重点を置く。</li> <li>・進んで自分から読むことを目指し、読書ボランティアによる読み聞かせ等も活用する。</li> </ul> <p>&lt; 体力向上の取組み &gt;            体力向上担当者を中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的に機能できる体制作りを進め、体育授業の工夫や休み時間の活用で、効率的な体力向上を図る。</li> <li>・運動をすることが好きになれる取組みを進める。</li> </ul>	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向けて、23年度のテーマ決め</li> <li>・推進体制の検討</li> <li>・取組み</li> <li>・1年目の総括(評価と次年度への見直し)</li> </ul>
		平成24年度
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向けて、25年度のテーマ決め</li> <li>・推進体制の検討</li> <li>・取組み</li> <li>・3年目と3カ年の総括(評価と3カ年の取組みのまとめ)</li> </ul>

3 推進体制

